

よこはまの 地区社協活動

令和4年度版



令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動が思うようにできない状況が続きました。そのような中でも、地区社協の皆さんは様々な工夫を重ね、人々の生活に寄り添いながら活動を続けてこられました。

市内18区社協のヒアリングにより把握した、256地区の「地区社協状況書」から見える「よこはまの地区社協の底力」を一部ご紹介します。

新型コロナウイルス感染症が流行する前の令和元年度から令和3年度までの比較（地区社協状況書より）

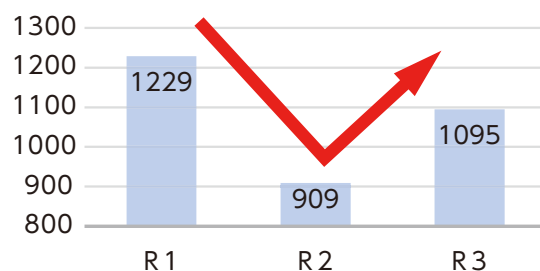
集いの場

令和3年度は89%まで回復※

サロンなどの集いの場は、少人数・屋外など様々な工夫により、令和元年度の開催状況に近づいています。



集いの場の推移（事業数）



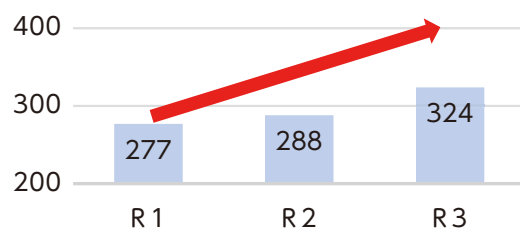
見守り活動

コロナ前より事業数が増加

対象者を限定しない、地域全体の見守りも増えています。



見守り活動の推移（事業数）



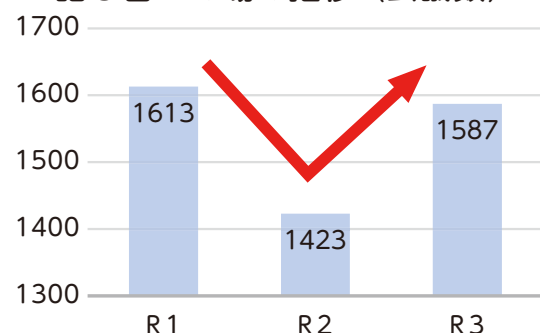
話し合いの場

令和3年度は98%まで回復※

地区社協の理事会など話し合いの場はオンラインの活用や短時間開催など工夫して実施されています。



話し合いの場の推移（会議数）



※令和元年度を100%とした時の増減率を表しています

次のページでは、コロナ禍で各地区が取り組まれた工夫点などをご紹介します



地域の状況が見えにくくなった！

人が集まることがなくなったので、情報が入ってこなくなった。外出自体を控えるようになり、地域の方々の様子がわからなくなった。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地域活動が休止したことにより…

地区社協の取組が見えにくくなった！

イベントや事業が中止となったので、地区社協の取組が地域住民の目に触れる機会が少なくなった。



配食活動ができないときは、**感染症対策グッズ**などを配布し、顔の見える関係が継続できるよう工夫しました。
泉区 しらゆり地区社協

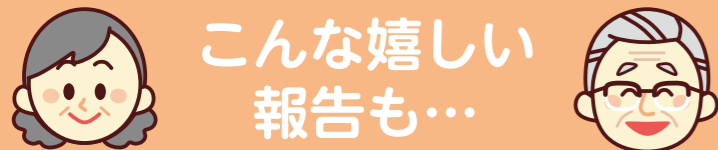
各団体や町内会の見守り活動について、お互いの取組状況を共有し、地区全体で連携できるように、**地区社協は横つなぎをする役割**を担っています。
西区 第4地区社協



大勢で集まるのが難しかったので、**小グループに分けて話し合い**を行いました。生活圏が近いので目指す地域の姿がより具体的に見えてきました。
港北区 菊名地区社協

食事会からお弁当の配布に変更しました。配布時には、**健康づくりサポーターの協力を得て、健康チェックも実施**しました。
中区 新本牧地区社協

地区社協で高齢者の買物の**困りごと**について調査を行い、検討会を立ち上げました。その結果、移動販売を2か所で実施できるようになりました。
栄区 本郷第三地区社協



こんな嬉しい報告も…

高齢者の食事会が実施できなくなったため、一人暮らし高齢者への配食に変更したところ、**食事会には参加できなかった車いすを利用されている方や男性とのつながり**ができ、喜ばれました。
戸塚区 柏尾地区社協

各家庭にある「自分では使わないけど、捨てるにはもったいないもの」の提供を呼びかけ、必要な人が無料で持ち帰れる場を作りました。**住民同士の支え合いや交流の場**となりました。
緑区 十日市場団地地区社協

定期的に行っていた福祉施設との連絡会が開催できなくなったが、そのつながりがあったため、コロナ禍で生じた**地域活動上の困りごと**について施設に相談でき一緒に解決することができました。
港南区 永谷地区社協

掲示板の「困窮世帯向けの無料頒布会」のチラシを見て関心を持った小学6年生のクラスの福祉学習の授業に参加しました。頒布会の様子を伝えると、児童から**「困っていても相談ができない人もいます。お互いさまを大切に助け合っていきたい」**との感想が寄せられました。
旭区 旭北地区社協

令和3年度 各地区の ちょっとした 工夫あれこれ

多くの人に広報紙を手にとってもらえるよう、トップページに地域住民のエッセイや絵、写真を載せました。また、**小中学生に福祉活動についての原稿**を書いてもらったら大変好評でした。
都筑区 荏田南地区社協

広報紙には、読者の趣味などを掲載するページを設けたり、**読者の声を反映**させるようにしています。また、活動を再開した団体を取り上げ、住民に知ってもらえるよう工夫しました。
南区 南永田山王台地区社協

広報紙の愛称を地域住民に募集したり、学校の**全校生徒にも配布**して、多くの人に読んでもらうための工夫をしています。
鶴見区 鶴見中央地区社協

「学校・地域コーディネーター」に地区社協の常任理事になってもらいました。学校・地域コーディネーターやPTA役員は若い世代とのネットワークもあるので、地域活動の担い手として期待しています。
青葉区 すすき野地区社協

地区社協に対する認知度やボランティア参加ニーズについて調査を行いました。**QRコードを付けるなど回答しやすい工夫**を行い、「活動したい」という多くの回答が得られました。
金沢区 金沢東部地区社協

ほとんどの会議が中止となりましたが、「見守りによる地域づくり」推進委員会だけは例年通り開催し、**日頃の地域の様子について情報交換**を行うことができました。
瀬谷区 相沢地区社協

保育園・幼稚園・小学校に協力してもらい、高齢者に年賀状を送る活動を行いました。その**年賀状のコピーを地域ケアプラザに展示**したところ、多くの方に地区社協の活動を知ってもらうことができました。
磯子区 洋光台地区社協

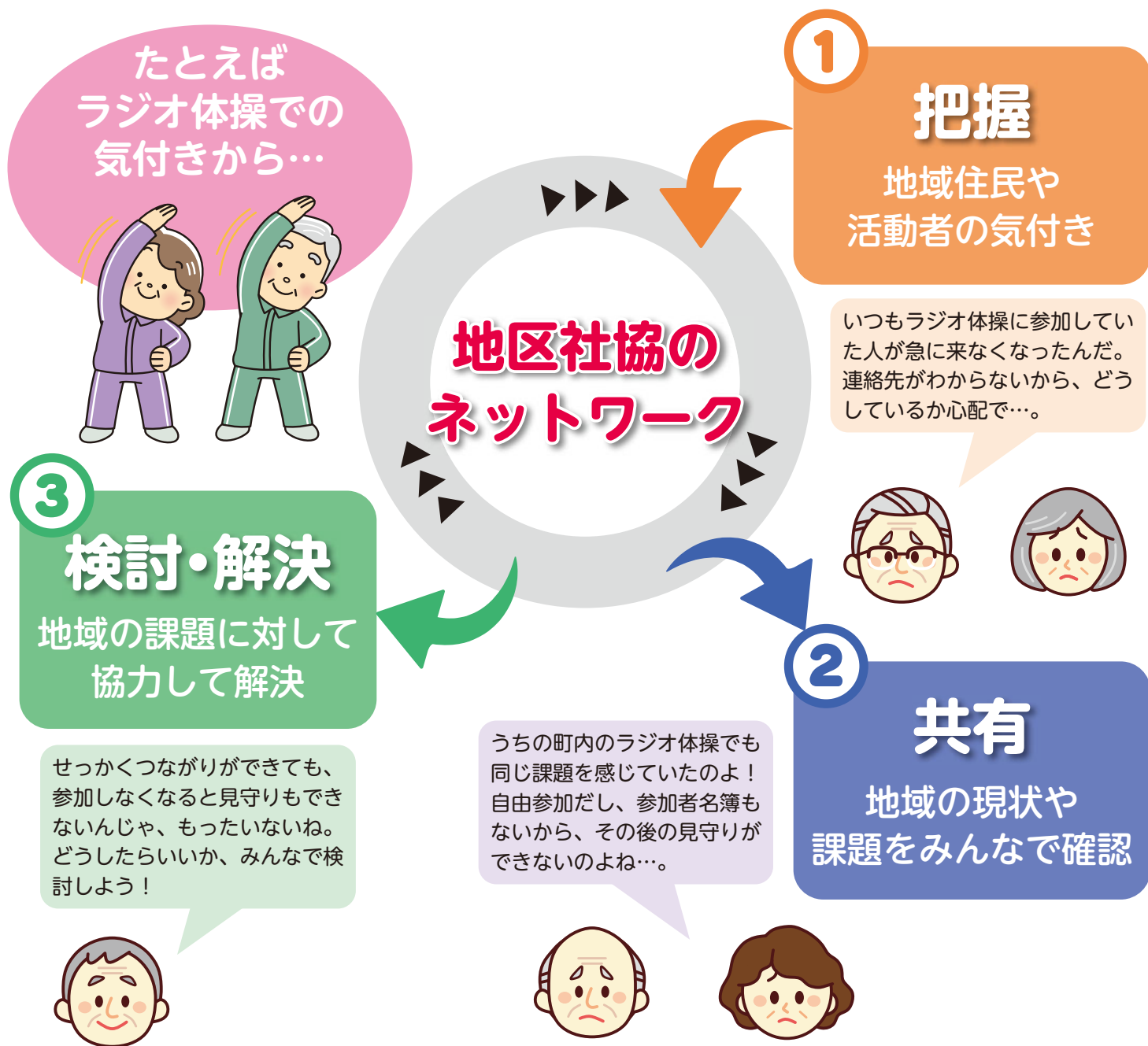
対面での会議開催ができない時にオンライン会議を実施しました。現在も**対面とオンラインを併用し、参加しやすい方法で参加**できるようにしています。
保土ヶ谷区 常盤台地区社協

令和2年度の片倉地区の取組を参考に、**地区社協名入りエコバッグ**を作成しウエットティッシュなどの消耗品を詰め、地区社協の認知度向上及び見守り活動の一環として対象者へ配布しました。
神奈川区 白幡地区社協



よこはまの 底力

地区社協には、地域住民や活動者の気付きを把握し、それを共有することで地域の現状を確認し、課題があれば解決に向けた検討を進めるという機能があります。様々な立場の方が参加する地区社協だからこそ、そのネットワークを活かした展開ができます。



これまでに誰も経験したことのない状況下で、地区社協の皆さんは今ある取組やつながりを活かしながら、少しずつ工夫を重ねて、この難局を乗り越えてこられました。同じ悩みを抱えながら、それぞれに地域づくりを進める仲間が、横浜市内には256地区あります。これからも共に横浜の地域づくりを進めていきましょう。

横浜市内256地区社会福祉協議会
横浜市内18区社会福祉協議会・横浜市社会福祉協議会
令和5年2月発行

発行元：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL.045-201-8616 FAX.045-201-1620

地域活動は、赤い羽根共同募金によって
支えられています。



募金の使い道はこちら